

The Sandcastle 「砂のお城」

—せっせとお城を作りにはげむ子どもたち（58語）—

海辺での砂遊びにはつい熱が入ります。お城作りをすることもたちのかたわらで、ビーチマットを敷き、寝ころびながら本を読んだり、写真を取っている親...覚えのある方いませんか。

親子で遊ぶ

夏に海にでかけるのは家族旅行の定番です。*The Sandcastle* のようなりっぱなお城を作るのはひと苦勞ですが、トンネル堀りやお山はチャレンジしやすいです。

The Sandcastle では子どもたちもママもみんな帽子をかぶっています。強い日差しの中で砂遊びをするには帽子は必要ですが、子どもはかぶらないで出かけたがります。帽子をかぶってもらう時の一冊としても使えます。

p.11~p.12 でキッパはイギリスの国旗“The Union Jack”を立てています。赤い十字がイングランド(St George)、青に白のななめ十字がスコットランド(St Andrew)、赤のななめ十字がアイルランド(St Patrick)に由来し、3つの十字を合わせて3国連盟を示す、ユニオンジャックと呼ばれています。p.4 にはポーランドの国旗もあります。

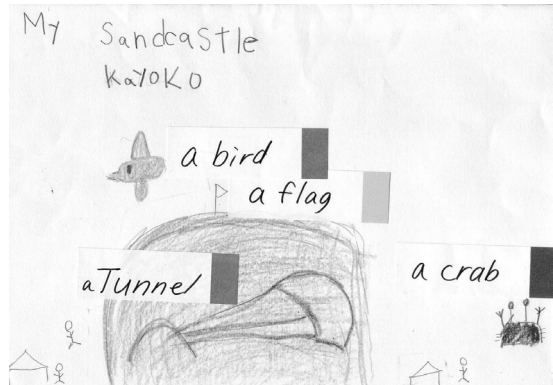
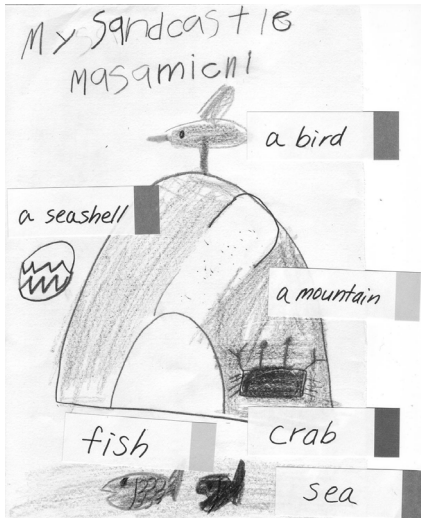
国旗をきっかけに、エアメールで届いた郵便物の切手を取っておいて、世界にはいろいろな国がある事を知ってもらいましょう。切手はしばらくしめらせておくと、取りやすいです。

- ① Soak this stamp in water.「この切手を水につけてね」→あまり長く浸すとやぶけます。
- ② Take the stamp off.「切手をはがして」→ゆっくりと。
- ③ Put it here.「ここにつけてね」→ノートなどに貼るようにしましょう。

グループで遊ぶ

子どもたちに、自分たちが作ったお砂のお城を描いてもらいましょう。海で砂遊びをしたことがないお子さんには、作りたいお城を想像して描いてもらいましょう。あらかじめポストイットに指導者(親)が単語を書きおき、絵を描き終わったら、用意された単語をどんどん貼っていきます。単語の読みも自然に学べます。

●絵にポストイット



- ① みんなで本を開きながら CD を聞きます。
- ② 子どもたちに今までどんな砂のお城を作ったか聞き、黒板(あるいは模造紙)に描いていきます。
- ③ イメージができれば、今度はひとりずつ画用紙に自分の砂のお城を描きます。
- ④ 指導者(保護者)は、あらかじめポストイットに絵本に出てくる単語や、子どもたちの絵に出てきそうな単語をひとつずつ書いて子どもの人数分用意しておきます。

例: a box 「箱」 sand 「砂」 a bucket 「バケツ」 on top 「～の上に」 a

sandcastle 「砂の城」 sea 「海」 seashells 「貝殻」など。

- ⑤ 絵が描けた子どもたちは、指導者(親)の用意したポストイットから自分の絵にあるものを選び、絵の中にはっていきます。

●How's Mum?

だれかひとりの行動に注目して本を読んでみましょう。ここでは、ママの行動に注目して、CDを聞きながら読んでみます。

ママはこんなふうですね：

p.1 She's carrying bags. (バックを運んでいます) p.5 She's reading a book. (本を読んでいます) p.7 She's watching children. (子どもたちを見ている) p.9 She's taking a picture. (写真を取っています) p.12 She's watching the best castle. (1等賞のお城をみえています)

ページ	英文	和訳
1	Chip had a box.	チップは箱を運んでいます。
2	He put sand in it.	砂を入れています。
3	"Pat it flat," he said.	「平らにしてね」チップは言います。
4	Kipper had a box.	キッパーにも箱があります。
5	He put sand in it.	中に砂を入れています。
6	Biff had a bucket.	ビフはバケツを持っています。
7	She put sand in it.	中に砂を入れています。
8	Biff put the bucket on top.	ビフはバケツを上にあけます。
9	"Good," she said.	「よし」ビフは言いました。
10	It was a sandcastle.	砂のお城でした。
11	It was a good sandcastle.	りっぱなお城でした。
12	It was the best sandcastle.	1等賞のお城でした。

Floppy's Bone 「フロッピーの骨」

—だれが何を釣るかな（59語）—

おいしそうな骨の取り合いです。続いておいかけていって、動きのあるお話です。

親子で遊ぶ

●男の人はどこ？

追いかける人が次々と増えていって、いつしか骨を奪い返したい気持ちでいっぱいになっていきます。*Floppy's Bone* にはそれをはらはら見守る男の人が6名登場しています。男の人を描写し、お子さんに見つけてもらいます。見つけたら“*I found him.*”「見つけたよ」と言います。

- p.5 A man is wearing glasses.「男の人はめがねをかけています」
- p.5 A man has a stick.「男の人はステッキを持っています」
- p.6 A man is looking out of the window.「男の人は窓から外を見ています」
- p.7 A man is sweeping.「男の人は掃いています」
- p.9 A man is looking at Floppy.「男の人はフロッピーを見ています」
- p.12 A man is reading a newspaper.「男の人は新聞を読んでいます」

グループで遊ぶ

キャラクターが骨をねらって追いかけていくのを、本の通りみんなで演じてみましょう。広い場所で動き回れなくても大丈夫。人が動くのではなく、スプーンで劇をするのです。これだとケガも少なく、場所も取りません。

●スプーンでドラマ

- ① CD を聞きます。
- ② 登場人物を把握します。“Name the characters.”「登場人物はだれかな」動きがあるのは以下 7 名です：
Floppy, a dog, Mum, Dad, Biff, Chip, a big dog この他に男性や動物などもあります。
- ③ ②のキャストを決めます。ナレーターも1～2名決めます。子どもたちはなりたいたいのを考えて、“I'll be a dog.”「犬になるよ」のように、決まった人から言っていきましょう。
- ④ 使い捨てのスプーンにマジックで、②の登場人物の顔を描きます。顔だけ書けばそれらしく見えますが、紙粘土、毛糸、リボンなどで本格的に作ってもOKです。
- ⑤ ナレーターが本を読みます。配役にしたがって、スプーンで追いかけてっこをしていきます。
- ⑥ 何度かキャストを変えてやってみましょう。繰り返す事で、本を覚えてしまいます。表現を覚えると自然に使えるようになります。

子どもたちが走って行く場合：

自由に走ると、狭い場所では追いかけている相手がわからなくなり、めちゃくちゃになります。そこで、電車ごっこのように紐で輪を作り、それを手でかかえて中に入っていきます。ただし、小さい子どもたちの場合は、首に紐が引っかからないように注意が必要です。

ページ	英文	和訳
1	Floppy had a bone.	フロップイーの前に骨があります。
2	A dog took the bone.	犬が骨を取ってしまいました。
3	Floppy ran after the dog.	フロップイーが犬を追いかけます。
4	"Come back!" said Mum.	「戻ってらっしゃい！」ママが言います。
5	She ran after Floppy.	ママはフロップイーを追いかけます。
6	"Come back," said Dad.	「戻ってこい」パパが言いました。
7	He ran after Mum.	パパはママを追いかけます。
8	"Come back!" said Biff and Chip.	「戻って！」ビフとチップが言います。
9	They ran after Dad.	ビフとチップはパパを追いかけます。
10	The dog stopped.	犬が止まりました。
11	A big dog took the bone.	大きな犬が骨をうばってしまいました。
12	The big dog ate the bone.	大きな犬が骨を食べちゃいました。
	Oh no!	あーあ！

The Box of Treasure 「宝の箱」

—ビフが見つけた宝の箱には…（59語）—

地図を頼りに宝物探しが始まります。何が出てくるのかな。

親子で遊ぶ

何が隠されているかわからない宝物を探すのは、ドキドキします。地図を読んで探せるのでしょうか。

●Mapping out

宝探しの地図を作ってみましょう。お家のリビングの地図でも楽しく遊べます。まずは宝物(お菓子など)をクッションの下、テレビの脇など見つけやすい場所に隠しましょう。お子さんにリビングの地図を書いてもらいます。“Let’s draw a picture.”「地図を書こうね」と誘って、一緒に書いて下さい。













パパ・ママが隠した場所を地図にマークします。マークしたらそれを何ピースかにカットしてジグゾーパズルを作ります。年齢に合わせて、カットする数は決めて下さい。

お子さんは地図のパズルをはめてから探します。

- ① Let’s draw a picture of this living room.「リビングの図を書こうね」
- ② I’ll mark the place.「場所にチェックするよ」
- ③ Let’s cut them into pieces.「いくつかに切っていくよ」
- ④ Now, are you ready? 「さあ、準備はいい？」 Please do the jigsaw puzzle.
「ジグゾーパズルをしてね」
- ⑥ Find the treasure.「宝物を探して」

●**地図記号**(国土地理院のホームページより:2万5千分の1地形図に使われている地図の記号の一部)

高学年のお子さんの場合は、地図記号を使い本物もどきの地図を作ってみましょう。

	渡船 (フェリー) a ferry boat		灯台 a lighthouse		擁壁(大) wall
	漁港 a fishing port		重要港 a port		地方港 a port
	小中学校 a school		図書館 a library		郵便局 a post office
	病院 a hospital		交番 a police station		田 a rice field

グループで遊ぶ

●なりきリアナウンサー

この本の中には、いろいろな種類の文章が出てきます。CD の音を何度も聞いて、声のトーンや調子を変えるマネをして、ネイティブライクの発音を目指しましょう。

- ① CD を聞きます。
- ② 何度も繰り返して聞いたら、今度は CD を聞くのとほぼ同時に聞こえた所だけを自分で発音してみます。聞き取れない所は、気にしないで下さい。できる所だけで構いません。
- ③ CD の声は、上がり調子、下がり調子、強い、弱いなどいろいろな読み方です。読み方にはいろいろあることを子どもたちと確認します

例:

p.1 Dad had a map. 抑揚のない言い方ですね。

p.8 “Dig here,” said Biff. 少し強い調子です。

p.11 “Is it a box of treasure?” 語尾を上げながら読んでいます。

p.12 No. It was a box of sweets! うれしそうにびっくりしながら読んでいます。

- ④ 句読点(パンクチュエーション)を見るとある程度その文章の読み方がわかります。そこで初めに . ? ! と書いたカードを用意し、全員で練習していきます。

CD を聞きながら、それぞれのページの句読点を指導者(保護者)がカードで子どもたちに見せ、読み方を意識しながら練習しましょう。CD のイントネーションに似せて、できるだけ同じようにマネしながら読んでもらいます。

よく使われる句読点:

full stop (米 : period) , comma ,
colon: , semicolon: , dash- , apostrophe ' question
mark ? , exclamation mark ! , quotation marks " ", parenthesis
()

- ⑤ 今度は個人での練習です。輪になります。感情をこめて、句読点の所まで一人ずつ交代しながら読んでみます。ひとりずつだと抵抗がある場合は、2 人ずつでもよいでしょう。子どもたちの負担にならないようにして下さい。
- ⑥ 子どもたちを半分に分けて、発表してもらいます。聞いている子どもたちは拍手をし、感想を言います。感想を言うってもらうために、あらかじめ“It’s great.”「すばらしかった」「I liked your voice.”「声が好き」などの言い方を練習しておきます。〈教室では、だれかがすばらしい発表をしたら、拍手をします。発表した子どもが、ますますよい発表をできるように支えあうことを教えるのです。〉

ページ	英文	和訳
1	Dad had a map.	パパが地図を持っています。
2	He hid the map in the sand.	パパは地図を砂の中に隠しました。
3		
4	Biff found the map.	ビフが地図を見つけました。
5	"It is a treasure map," she said.	「宝の地図だわ」ビフが言いました。
6	The map said, "Dig here."	地図には「ここを掘れ」と書いてあります。
7		
8	"Dig here," said Biff.	「ここを掘るのよ」ビフが言います。
9	Chip dug in the sand.	チップが砂を掘ります。
10	Chip found a box.	チップが箱を見つけました。
11	"Is it a box of treasure?" he said.	「宝の箱かな？」チップは言いました。
12	No. It was a box of sweets!	「ちがった。キャンディーの箱だ！」

Hook a Duck 「あひる釣り」

—だれが何を釣るかな（58語）—

お祭りや屋台が並ぶところで、何かを釣るのは楽しさいっぱいです。何が釣れるかなとわくわくしながら、狙いを定めていきます。水に浮かんでいるもので釣るといえば、日本ではヨーヨー・金魚・スーパーボールなどがおなじみですね。*Hook a Duck* のアヒル釣りでは、アヒルに番号がついていますね。

親子で遊ぶ

ゲームに挑戦するときは、必ずお金を払います。うつし絵で、通貨への意識を育てましょう。人ごみにお出かけした時には、気をつけないとならないことがあります。「見知らぬ人にはついていけない」、「お金を見せたまま歩かない」など気づいた事を、お子さんにさりげなく伝えるチャンスです。

●コインうつし絵

アヒル釣りをする時にパパは何をしているでしょうか。p.5 のパパを見てください。お財布からお札を出しています。p.7,p.9 と進むにつれて、ついに p.9 ではからっぽのように見えますね。物を買うときにはお金が必要だという事を確認しましょう。

コインを用意します。コインをうすい白い紙の下に置きます。濃い鉛筆(2B 以上)を横に使います。力を軽くかけてえんぴつの側面を使いながら、紙の上から丁寧にこすっていきます。通貨の模様が浮き上がってきます。いろいろな種類のコインを集めて写してみましょう。

① Put the coin under the white paper.

「白い紙の下にコインをおきましょう」

② Color it with a pencil from the top.

「えんぴつで上から塗りましょう」

グループで遊ぶ

次々と、みんながアヒル釣りで物を取っていきます。ここでは、覚えてほしい単語(名詞)の絵カードやおもちゃを使って言葉をたくさん覚えましょう。

●Have a go

- ① みんなで本を開きながら、CDを聞きます。
- ② 本に出てくる商品の a pen a duck a dog a cat a bear a monkey a ball などの絵カードまたはおもちゃや実物(どれかあるものでよい)を複数ずつ用意します。
- ③ 1メートルほどのテーブルクロスまたは布の下に、②を入れます。指導者(親)の“Have a go.”のかけ声で、丸くなってすわっている子どもたちが布の下に手だけ入れます。指導者(親)が“Hook a ~.”と指定したものを手探りで取ります。“I got a ~.”と言いながら、いっせいに布の下から物を出します。さあ、言われたものを取れるかな。一回ごとに物を元に戻してまぜます。“Mix well.”「よくまぜてね」
- ④ ②の単語を覚えたら、次は子どもたちに“Have a go. Hook a ~”と言ってもらいます。
- ⑤ オプションで、覚えてほしい単語(名詞)の絵カードやレプリカを用意すると、同じようにいくらでも遊べます。

ページ	英文	和訳
1	"Hook a duck,"said Mum.	「アヒル釣りしてみよう」ママが言います。
2	Chip had a go.	チップが釣ってみました。
3	He got a pen.	ペンを取りました。
4	"Have a go,"said Mom.	「ためしてみて」ママが言います。
5	Biff had a go.	ビフがやってみました。
6	Biff got a cat.	ビフはネコを取りました。
7	"Go on. Hook a duck," said Mum.	「さあ。アヒルを釣ってみて」ママが言います。
8	Kipper had a go.	キッパーがやってみました。
9	He got a dog.	犬を取りました。
10	It was a big dog.	大きな犬です。
11	"What a big dog!"said Kipper.	「なんてでっかい犬なんだ！」キッパーが言いました。
12	"Grrr!"said Floppy.	「ウーッ」フロッピーがほえました。

Chip's Robot 「チップのロボット」

—チップが作るのは…（67語）—

ロボット作りはわくわくします。身体のパーツ、図形の言い方も一緒に覚えてしましましょう。

親子で遊ぶ

ロボット作りはおおがかりだというご家庭では、模造紙を貼りあわせてお子さんからだごと写してしましましょう。

●模写

模造紙をお子さんの身長の高さに張り合わせ、大きな紙を用意します。その上にお子さんにあお向けになってもらいます。“Lie down on the sheet of paper.” 「紙の上に寝て」。パパ・ママがお子さんの輪郭を紙になぞっていきます。マジックよりもクレヨンの方が身体についた時に落としやすいです。

できあがったら、身体のパーツ(leg, arm, head, face)を確認します。顔に表情をつけて、布切れや色画用紙などで洋服を着せ、リボンをつけても可愛くなります。

グループで遊ぶ

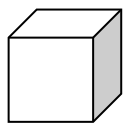
Chip's robot と同じようにみんなでロボットを作ってみましょう。作りながら、知っておきたい図形の表現も自然に覚えられます。

●Make our robots

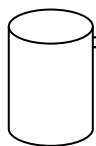
- ① CD を聞きます。
- ② いろいろな形をした素材を集めます。To make a robot, you will need「ロボット作りに必要なもの」:

a glue stick(のり)、a pair of scissors(はさみ)など。

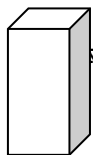
立体図形の英語



立方体
a cube

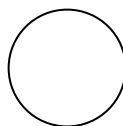


円柱
a cylinder

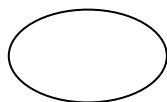


a cuboid
a rectangular solid

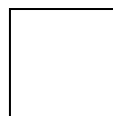
円・多角形の英語



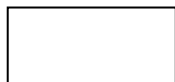
円
a circle



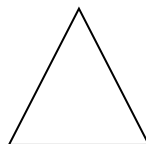
楕円
an oval



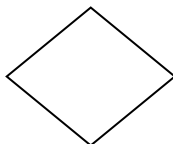
正方形
a square



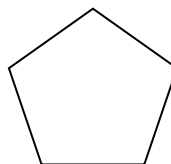
長方形
a rectangle



三角形
a triangle



ひし形
a diamond



五角形
a pentagon

- ③ 図形の表現に慣れるために、身体で図形を作ります。“Make a triangle with your legs.”「脚で三角を作ってみよう」脚を開いて2辺、床を1辺と考えると三角形になります。“Make a circle with your hands.”「手で円を描いてみよう」
- ④ 本を1ページずつ開きながら、同じように子どもたちとロボット作りをします。材料を取ってもらうときは、“Take a ○○ please.”「○○を取って下さい」、つけてほしい時は、“Please put it here.”「ここにつけて下さい」、糊が“it

sticks out.” 「はみ出している」というふうに英語でおしゃべりしながら、完成させていきましょう。

●歌 Head, Shoulders, Knees and Toes

歌って踊りながら、身体のパーツを確かめましょう。

♪Head, Shoulders, Knees and Toes♪

Head, shoulders, knees and toes, knees and toes,
Head, shoulders, knees and toes, knees and toes, and
Eyes and ears and mouth and nose
Head, shoulders, knees and toes,
knees and toes

ページ	英文	和訳
1	Chip had a box.	チップが箱を持っています。
2	“This is my robot,” he said.	「これはボクのロボットなんだ」チップが言います。
3	“Can you see it?”	「わかる？」
4	“This is a leg,” said Chip.	「これが足だよ」チップが言います。
5	“Can you see the robot?”	「ロボットに見える？」
6	“This is an arm,” said Chip.	「これが腕でしょう。」チップが言います。
7	“Can you see my robot?”	「ロボットに見える？」
8	“Can you see it, yet?” said Chip.	「もう見えてきた？」チップが言います。
9	“No,” said Biff.	「うん」ビフが言います。
10	“This is the head,” said Chip.	「これが頭だよ」チップが言います。
11	“Now can you see my robot?”	「さあ、もうロボットが見えてきた？」
12	“We can see it now!” said Biff.	「やっと見えたよ！」ビフが言いました。

One Wheel 「一輪車」

—みんなでこいでいます（55語）—

One Wheelにはタイヤ付きの乗り物がいくつも出てきます。くるくるまわるおもちゃを回しながら乗るといのはかなりの技がいりますね。芸を見て、そのまま自分流にマネをして、家族仲良く楽しんでいます。

親子で遊ぶ

● I am on X wheel(s)

車輪のついた乗り物はいろいろあります。タイヤの数で比べてみましょう。

タイヤが1つ→

a wheelbarrow (一輪の手押し車)

unicycle = monocycle(米)(一輪車)

タイヤが2つ→

a bike(bicycle)「自転車」

a scooter「スクーター」

a pushchair(米: a stroller)「ベビーカー」

タイヤが3つ→

a tricycle「三輪車」

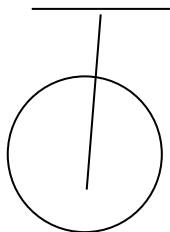
タイヤが4つ→

a skateboard「スケートボード」、a car「自動車」

お子さんは何輪車に乗っていますか？

お子さんの好きな乗り物を、お絵かきしてもらいましょう。架空の乗り物でも構いません。絵が描けたら I am on X wheels. → X の所に車輪の数を入れます。「X 輪車に乗っている」と文章も入れます。

I am on one wheel.



グループで遊ぶ

●ジェスチャー

- ① .p.2, p.5, p7, p.9 に出てくるチップ、ママ、キッパ、ビフのジェスチャーを決めます。挿絵と同じような感じで、4種類のジェスチャーしてみましょう。

会話例：“Do the gestures of p.2”「p.2 のジェスチャーをしてみよう。」

- ② “Count to three and do the gesture.”「3まで数えたらジェスチャーをしてみましよう」。“If your gesture matches up with your teacher, you lose.”「先生と同じジェスチャーをしたら負けです」。

ページ	英文	和訳
1	"One wheel," said Chip.	「一輪車だ。」チップがいます。
2	"Look," said Chip.	「見て。」チップがいます。
3	"One wheel."	「一輪車だ。」
4	"Look," said Mum.	「見てよ。」ママがいます。
5	"I am on two wheels."	「二輪車に乗っているでしょう。」
6	"Look at me," said Kipper.	「ボクを見て。」キッパーがいました。
7	"I am on three wheels."	「三輪車に乗っているよ。」
8	"Look at me," said Biff.	「私を見て。」ビフがいます。
9	"I am on four wheels."	「四輪車に乗ってるよ。」
10	"Look at Dad," said Mum.	「パパを見て。」ママがいました。
11	"He is on one wheel."	「一輪車乗りしているわ。」
12	"Oh no," said Dad.	「うわっ。」パパが言いました。
	"No wheels."	「車輪なしになっちゃった。」

Glossary (本文:アルファベット順)

英単語	意味
arm	腕
ate	eat の
best	最もよい
big	大きな
bone	骨
box	箱
bucket	バケツ
can	can～ ～できる
Come back.	戻ってきて。
competition	競争・コンクール
Dad	パパ
dig	掘る
dog	犬
duck	あひる
dug	dig の過去形
enter	入る
flat	平らに
Floppy's	フロッピーの
found	find の過去形。見つける
four	4、4つの
get	got の過去形 手にいれる
Grrr	動物のうなり声
had	have の過去形。持っている・がある・取る
head	頭
here	ここに(で)、さあ
hid	hide の過去形。隠す

hook	釣る
it	それは
leg	脚
look at A	Aを見る
map	地図
Mum	ママ
my	自分の
now	さて、今
Oh	まあ
on	上、乗る、接している
on top	上に・先頭に立って
one	1、ひとつの
pat	ポンポンとたたく
put	put の過去形 置く・入れる・動かす
ran after	run after の過去形。追いかける
robot	ロボット
said	say の過去形。言う
sand	砂
sandcastle	砂のお城
see	見る。わかる。
she	彼女は
stopped	stop の過去形。止まる・やめる
sweets	キャンディー(英)
this	これ
three	3、3つの
treasure	宝
two	2、2つの
was	is・am の過去形
we	私たちは
What a～!	なんて～なのでしょう!

wheel	車輪
yet	もう(stillを多く使う。yetだと、そのうちな んとかなるという感じになる。)まだ

Stage 1+ More First Sentences B のイラストに出てくることば

イラストを見ながらお子さんとお話する時に、絵の中の単語をリストアップしました。

The Sandcastle			
波	wave	シャベル	shovel
帽子	cap	ポーランド	Poland
ひっくり返す	turn over	運動靴	trainers(英) sneakers(米)
貝殻	seashell	賞	prize
Floppy's Bone			
草	grass	洗濯をする	do the washing
ズボン	trousers(英) pants(米)	Tシャツ	T-shirt
ストッキング	pantyhose	ボクサーパンツ	boxer shorts(briefs)
下着	underwear	生ごみ	garbage
はしご	ladder	たこ	kite
紙くず	trash	ゴミ箱(乾いたご み用)	dustbin(または bin) 米: trash can
Hook a Duck			
ジェットコースタ ー	roller coaster	さる	monkey
くま	bear	さお	rod
お財布(お札を 入れる)	wallet	ほうき	broom
歯をみせて笑う	grin		

Chip's Robot			
くし	comb	小さなプラスチック容器	a small plastic container/ a cup
ざる	strainer	フライパン	frying pan
なべ	pot	皿	plate
指差す	point to		
The Box of Treasure			
サインペン	felt-tip pen	スーパーの袋	plastic bag
灯台	lighthouse		
One Wheel			
一輪車	unicycle	手押し車	wheelbarrow
三輪車	tricycle		